

東日本大震災支援対策委員会 11月の活動より

●第38回岩手県養護教諭研究大会で各校の災害に対する取り組みを紹介しました●

11月13日（木）に行われた第38回岩手県養護教諭研究大会で、昨年に引き続き、東日本大震災支援対策委員会の展示ブースを設けました。

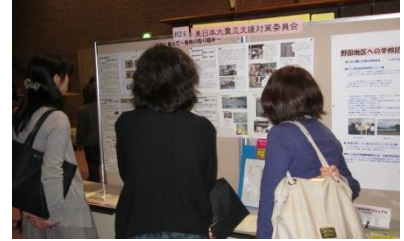
『地区・学校で災害に備えて取り組んでいる活動』や『災害に備えて用意している物品』について、1つの地域、小学校2校、中学校1校、高校2校、特別支援学校1校の養護教諭の先生方から、紹介していただきました。

また、10月に行った野田地区への学校訪問の様子も展示しました。

特別支援学校です。日常的に服薬が必要な児童生徒が多くいるため、薬の管理や医療機関にスムーズにつながり手段を確認しています。

取り組みを紹介していただきました

高校で、生徒発案の集中豪雨を想定した避難訓練を実施。地域の防災リーダーとなるよう救護訓練も行っています。



多くの方に見ていただきました

非常持ち出しリュックを用意しています。

職員室と各教室に「防災バック」を常備しています。職員室の緊急用品（投光機、ラジオ、懐中電灯、誘導灯等）は、緊急時以外は使用禁止にして、管理しています。

保健室の備えの見直しと救急用品の表示をしました。

●東日本大震災支援委員会研修会並びに交流会を釜石地区で開催しました●



講師の多田淳子先生

11月28日（金）に、釜石地区で、29名の方に参加していただき、研修会並びに交流会を実施しました。

講師の未来の風せいわ病院 養護教諭 多田淳子先生に、「こころの危機をのりこえるために～養護教諭のためのセルフケア～」と題し、講演をしていただきました。

講義のほか、呼吸法やからだを動かす演習もあり、和やかな雰囲気となりました。交流会も、多田先生にワールドカフェという手法を教えてください、楽しく充実した時間となりました。

☆参加した方の感想より☆

- ★初めてお聞きする内容もあり、大変参考になりました。
- ★様々な技法を教えてください、気にかけている子どもと一緒に使おうと思いました。
- ★ワールドカフェでお聞きした、先生方の工夫が参考になりました。とてもほっこりした時間を過ごし、養護教諭同士、交流ができて良かったです。



ワールドカフェ開催中！

(文責:本委員会副委員長 石橋寿子)